

児童発達支援・事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 1月 26日

公表:令和 4年 2月 20日

事業所名 chameleon

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	適切であるが、活動内容によっては別の施設の利用をしている。	現状を継続していく。
	2 職員の配置数は適切である	9	0	シフト作成時に加え、日々確認を行うようにしている。	現状を継続していく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	4	職員全員でリスクの予測を行っている。利用者の発達・特性・コンディションなどを配慮し、介助を行っている。	不十分なところは改善したり支援の方法を考えている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	整理整頓・清掃等、こまめに行っている。活動や特性に応じて環境設定を行っている。	感染拡大防止に努めるとともに、運動量不足や活動が固定化が無いよう、職員で活動案を考えていく必要がある。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	0	仮説を立て、実践し、試行錯誤している。上手くいかない際には、すぐに別の計画をたてるようにしている。	現状を継続していく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	要望・苦情に関しては職員で共有をし、検討を行っている。可能な限り迅速に対応している。	職員間でも業務に対し、会議を行い、振り返りを継続していく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	公表のお知らせをするようにしている。	途中契約の方に公表していることを周知してもらえよう努力する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	2	事業所内では意見を出し合うようにしている。	検討し改善につなげていく必要がある。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	研修は定期的に設けている。	職員の専門分野でないものや新しい情報も研修に取り入れていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	生活情報と本人の状態、ちょっとした違いなどを捉え、分析するようにしている。	現状を継続していく。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	2	ABC分析などを行うようにしている。	標準化されたものではないため、検討していく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	1	複合的に、現在の状況・将来を見立て支援を行うようにしている。	現状を継続していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	課題や目標を職員間で共通理解とし、計画に沿った支援を行うようにしている。	現状を継続していく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	様々な職員の視点より意見をすり合わせ立案するようにしている。	現状を継続していく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	活動プログラムは固定化しないように配慮しており、利用者のコンディションによって変更している。利用者の要望等も取り入れている。	現状を継続していく。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	個別と集団での目標をそれぞれ計画に取り入れるようにしている。	現状を継続していく。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	支援開始時や終了時に、情報共有を行っている。	現状を継続していく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	1	その場で支援方法を検討すべき時には、早急に判断をするようにしている。	行っているが不十分な時もあるため、各職員で空いている時間を使用してミーティングを行いながら情報共有していく。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	特に環境の変化やコンディションのムラ、日頃と違う部分は特に細かく記録をとり、原因や支援方法の検討を行っている。	職員によって視点が違う為、共通理解を図っていく。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	定期的にモニタリングを行っている。また日頃よりメールや対面での会話も行い、経過を辿るようにしている。	現状を継続していく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	現状を継続していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	2	連携先の協力が得られる場合には、必要に応じて行うようにしている。	連携ができていない関係機関も、感染拡大等が落ち着いたら積極的にいきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	2	-	医療的ケアの必要な利用者が今のところいない為、必要に応じて検討していく。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	2	-	医療的ケアの必要な利用者が今のところいない為、必要に応じて検討していく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	1	事業所と園との併用児に関しては、情報共有している。	移行対象の利用者がいない為、必要に応じて検討していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	2	学校と情報共有の連携は図っている。	サポートブック等活用していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	2	事業所内での検討をこまめに行うようにしている。	感染拡大が落ち着いたら、他施設での研修などにも参加していきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	4	外出時に、地域のこどもと関わることがある。	感染拡大が落ち着いたら実施したい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6	3	-	会議等が開催されているか情報を入手しながら関わっていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	日々利用者・保護者と話し、課題の伝達や支援方法の検討・提案を行っている。	必要に応じて面談を行っていく。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	3	保護者への助言は行っている。	ペアレント・トレーニングといった内容での講座等も検討していく。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時、契約更新時に行っている。また不明な点があれば、いつでも声をかけて頂くようお願いしている。	さらなる周知を図る。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	ガイドラインに沿い、かつ利用者・保護者のニーズに合った支援・計画を行うようにしている。	現状を継続していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	1	保護者への助言・支援はその都度迅速に行うようにしている。	今後も保護者との関係性の構築に努力していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	5	行事を参観してもらってよい日と設け、保護者同士が関われる機会を設けている。	感染拡大が落ち着いたら実施したい。また近いうちにオンラインでの交流を検討している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	職員間で情報共有し、迅速に対応している。	現状を継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	事業所の新聞、SNS、活動予定表、活動計画、連絡帳、療育の記録など細かく発信している。	より周知を図る。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	注意を払うことができている。	現状を継続していく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	理解しやすいように利用者・保護者に合わせて伝達の仕方・頻度に配慮している。	現状を継続していく。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	5	4	地域の方、保育・福祉分野の方、企業と関わることができないか、アポイントは積極的に行っている。	感染拡大が落ち着いたら検討したい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	マニュアルの策定、訓練の実施を行っている。	マニュアルの策定をしているが、周知が不十分な点もある為、周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	定期的に訓練を実施している。	現状を継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	契約時、事前に状況確認している。	予防接種の状況が不十分である為、行っていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	保護者の希望に沿い、アレルギーのある子は除去・接触しないように配慮している。	医師の指示には基づいていない為、検討していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	ヒヤリハットの作成を行っている。	事例をもとに内容共有を確実に行っていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	虐待防止のための研修会を行っている。	現状を継続していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	2	どのような場合が身体拘束とされるか予測をするようにしている。	現在対象になっている児童がいないが今後対象児童が来所した場合を想定して準備を行っていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。